

# 令和8年度全国高校総体バスケットボール競技静岡県予選大会展望

## 【ダイジェスト版】

文：中島 洋己

( (一社) 静岡県バスケットボール協会広報委員長・県立駿河総合高校教諭)

令和8年度全国高校総体静岡県予選が令和8年5月23日に静岡学園高校他で開幕する。地区予選を勝ち抜いた男女各32校が初日に1,2回戦、翌24日に男子:雄踏総合体育館・女子:浜松開誠館高校アリーナⅡで準々決勝を行い、6月6日に袋井市・エコパアリーナにて準決勝と5位決定トーナメント、7日に同じくエコパで決勝戦と各順位決定戦が行われる。優勝校は7月28日に大阪府大阪市のAsueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)をメイン会場に、同じく大阪市・HOS住吉スポーツセンター(大阪市立住吉スポーツセンター)、堺市・大浜だいしんアリーナ(堺市立大浜体育館)および羽曳野市・タケダハムはびきのコロセアム(羽曳野市立総合スポーツセンター)で開幕する全国高校総体(近畿インターハイ2026)へ、上位3校が6月20,21日に愛知県三河地区バスケットの聖地と崇(あが)められ、Bリーグ・三河シーホースおよびWリーグ・デンソーアイリスとトヨタ紡織サンシャインラビッツのホームアリーナである刈谷市・ウイングアリーナ刈谷と刈谷市体育館で開催される東海高校総体への出場権を獲得する。

今年度も例年同様、各ブロック総体優勝チームの所属都道府県に年末のウインターカップ追加出場枠が与えられることになり、東海総体優勝チームを輩出した県はウインター出場権が「増枠」となる。昨年は藤枝明誠が東海総体で優勝し、静岡県男子の出場枠が2年ぶりに「2枠」となり、熾烈な決勝リーグを勝ち抜き優勝を果たした藤枝明誠に加えて第2代表として浜松学院興誠が恩恵に預かり全国切符を手にした。今年は男子だけでなく女子も東海制覇の期待がかかるが、一昨年男女共3枠を勝ち取った岐阜に加えて長年東海のバスケットを牽引しながらも昨年からはインハイ出場枠が男女とも1枠となった愛知、そして近年男女とも目まぐるしい躍進を続け、四日市メリノール学院女子が岐阜女子・桜花学園(愛知)を破り男女通じて県勢初の東海新人制覇、全国大会でも上位進出を続ける三重の三つ巴ならぬ「四つ巴」とも言えるまさに戦国時代と化した戦いが予想される。どの県も喉から手が出るほど欲しいウインター追加出場権、増枠を狙うためには静岡県も戦国模様を勝ち抜けるチームを複数東海総体に送り込み、ウインターカップの追加出場枠を獲得する使命も担うことになる。なお、ウインター出場枠が2枠になった場合、昨年同様県予選は決勝リーグ制、3枠になった場合はトーナメント制に付随して3位決定戦を行うことが決定している。

加えて、この大会は天皇杯・皇后杯全日本選手権大会(オールジャパン・旧全日本総合)の出場選考も兼ねている。男女とも上位2チームが8月に静岡県武道館で行われる静岡県予選の出場権を優先的に獲得(繰上対象は4位まで)、県予選上位2チームが11月に静岡県沼津市・沼津市総合体育館(香陵アリーナ)で行われる東海ブロック予選に出場できる。東海優勝チームのみが最高峰の大会・オールジャパンに出場といういばらの道ではあるが、最終的には「バスケットの聖地」代々木第一・第二体育館でのプレーにつながることは選手のモチベーションを高めるに間違いない。

さらに女子は8月に開催される「U18日清食品ブロックリーグ」への参入戦も兼ねている。参入戦の実施方法は各都道府県の裁量に委ねられており、静岡県はリーグ戦の価値を高めるために昨年度ブロックリーグ参加チームと県1部リーグ優勝チームを対象に参入戦を行うこととし、女

子はそれぞれ浜松開誠館と浜松学院興誠が対象となり、今大会で両チームの上位がブロックリーグに出場する。男子も同様であるが、昨年のブロックリーグで全勝優勝を果たし「トップリーク入替戦」で宮崎工業・福岡第一を連破した藤枝明誠がすでに2年ぶり3度目の「U18日清食品トップリーク」出場を決めているため今年も参入戦を行わず、昨年度県1部リーグ優勝チームの浜松開誠館が自動的に5年連続5回目の出場を決めている。ブロックリーグで優勝すればトップリーク入替戦への出場権が与えられ、仮に入替戦でトップリーク出場は逃しても来年度のブロックリーグ出場権を自動的に付与されるというメリットも大きい。昨年はトップリークが北里アリーナ富士（富士市総合体育館）で県内初開催、ブロックリーグも7試合が県内で開催されて大盛況を見せ、サッカーが発祥と言われているリーグ戦文化が完全にバスケットにも根付いた証拠とも言える。同時に「U18都道府県リーグ」も行われ日本全国で競技階層ごとに各チームが試合機会を与えられることは競技力向上の部分で波及効果は計り知れない。

レギュレーションは昨年同様トーナメント制で行い、**東海総体出場決定戦**も兼ねた**3位決定戦**を行う。また準々決勝で敗れた4チームで**5位決定トーナメント**を行い最終日に**5位決定戦・7位決定戦**を行う。この結果は秋のウインター県予選のシード順に直接影響し、優勝チームから8位まで順位に従い該当チームに直接シードが割り当てられる。また上位8チームはウインター県予選の**スーパーシード権**も与えられ、今年も青森での**国民スポーツ大会**の関係で例年より1週間以上早い10月10日開幕となるのでさらに2週間後の10月24日、ベスト16を賭けた戦いから満を持しての登場となる。調整期間が他チームよりもかなり長く確保できることはチーム作りの上では相当なメリットと言える。今大会においても、ベスト8を確定させたチームはそのあと3試合と2週間の準備期間が約束されており、総合力強化という点で「公式戦」「大会期間」という何事にも代えられない宝物を与えられることはチームの財産になること間違いない。

また、今回県総体では初めて「**使用球およびメーカーの指定**」が行われた。ウインター予選ではすでに全国大会の規定に合わせて**モルテン12面体B7G5000(男子)・B6G5000(女子)**を県武道館で使用しているが、県総体でも上位大会である東海総体・全国総体の規定に合わせて、準決勝・決勝では男子：**モルテン8面体B7C5000**、女子：**ミカサ8面体CF6000**を使用する。昨年までは審判判断だったが先を見据えた県高体連の英断に拍手を送りたい。なお男女別に使用メーカーが分かれる、そしてミカサのボール使用指定は県内では初めてである。

年度末にホームページで告知させていただいた「**県協会公式アプリの運用停止**」の報には多くの方々から落胆と心配の声が多く届いた。私も運用停止の第一報を聞いた時、我が耳を疑い声も出なかった。昨年度1年間このアプリの普及・浸透のために心血注いで取り組んできたため私自身も立ち直れない精神状態が続いた。しかしながら多くの方々から励ましの声掛けをいただくとともに後継システムや後発機器への期待の言葉をいただいたのも事実である。公式アプリでの教訓を生かしながら「**持続可能な後継システム**」「**仕事を属人化させない組織力の構築**」を目標に、現在協会ホームページ管理をお願いしている本協会サポートカンパニー・**(株)LEAPH**様の協力を頂き、撮影したスコアシートを指定のフォルダに格納して**AIが情報を解析**、必要に応じて確認しながら会場主任が手動で修正し解析結果を協会HPのトップバナーにインポートして掲載する「**代替システムの試行**」を地区総体で行った。まだまだ開発途中のサービスで改善の余地も予想以上に多く残り、皆様からもさまざまなご意見を頂きながら試合ごとに不具合やバグを修正し続け、最終日の5月10日までには一定の成果を残せたと自負している。それを受けて今回の県総体ではワンステップ踏み出した**公式LINE**での情報通知も合わせて試行する予定である。公式アプリで一番好評だったのはこの「**プッシュ通知機能**」、情報を受け手が取りに行くのでは

なく、発信側が受け手に対し積極的に通知するこの「目から鱗」の機能が好評を博したので、さまざまなプラットフォームを検討した中で「プッシュ型メディア」の特徴を持ち、現在日本で一番普及している SNS である LINE の力を借りて試行することにした。会場からの結果伝達も含めた情報発信はまだ試行錯誤の途中であるため会場主任にも今まで以上にご足労をかけることになるが、皆様も温かい気持ちで見守っていただければと思う。なお、公式記録は引き続き HP 掲載のテキストデータと勝ち上がり表であることを念押しさせていただきたい。

この大会展望執筆においても、私の右腕・山口裕史県協会広報副委員長(矢崎部品(株))には多大な御尽力をいただいた。私自身今年度も報道部の正顧問を拝命しておりなかなかバスケットに関われない状況の中で、私に代わって各地を奔走し情報収集してくれた。感謝の気持ちでいっぱいであるとともに、毎回の大会展望を楽しみに待ってくれる皆様のためにそれらの資料と私が蓄積した情報をベースに今回も大会展望を執筆させていただいた。本来は山口副委員長との共著としなければならないところであるが謙虚な山口氏が私に気を遣って下さったことに感謝の意を表したい。また関係チームの顧問先生方も丁寧に取材に応じて下さったことにもこの場を借りてお礼を申し上げたい。客観的事実の間違えや人名のミス、場合によっては私の主観が混じった表現があるかもしれないがご容赦いただき、執筆の趣旨を理解して観戦のお供にしてもらえればと思う。

昨年も記載したが、私にとってこの大会で例年ウインター県予選プログラムの表紙・裏表紙・そして目次・男女扉絵に載せる選手の人選も楽しみである。今大会の結果を参考資料として 50 名ほどの「静岡県高校バスケの顔」となる選手を選考することになる。昨年はこのプログラムに載った選手たちが年度末の県協会 U18 優秀選手表彰式で一堂に会し、私も写真撮影をしながら「感無量」の一語に尽きる思いをした。今年も多くの方々が目にする大役を任されていることを誇りに思い、いつも以上に重責を感じながら長年の経験で培った「自分の眼」を信じて執筆・選考にあたりたい。

## 【男子】

今大会も県新人 4 連覇、県内大会 12 連覇、県内連勝も 88 まで伸ばし今年度中に 100 連勝に到達する可能性もある藤枝明誠が県制覇はもちろん東海総体連覇も目指し群を抜く大本命に挙げられる。それを猛追するのが西部・東部予選覇者の浜松開誠館・沼津中央、そして昨年ウインターにも出場した浜松学院興誠、中部総体準優勝の静岡学園、冬の東部新人を制し県新人過去最高の 7 位となった韮山、県新人 4 位の浜松商業も東海総体出場権争いに加わることに必至の熾烈な戦いが予想される。

左上のブロックは、中部総体 20 連覇から一気に県総体 5 連覇、その先には東海総体連覇と全国制覇まで見据え、**渡邊聖**という全国屈指のクラッチシューターを擁する第 1 シード・**藤枝明誠**の独壇場になる可能性が高い。そして準々決勝で絶対王者への挑戦権そしてエコパへの出場権を賭けて東部総体 3 位・**飛龍**と中部 3 位の**城南静岡**が争う構図が予想される。

左下のブロックは男女共毎年恒例最激熱のブロック、今回も順調に勝ち上がれば県新人 4 位の**浜松商業**と県新人 5 位の**沼津中央**が準々決勝で対戦する。しばらく直接対決がない両雄、公立高校としてそして自校にとっても 14 年ぶりとなる東海総体出場を目指す浜松商業と、今年は現在まで新人戦で**韮山**・**藤枝明誠**に敗れた 2 敗のみの勢いそのままで東部総体を制し今大会に臨む沼津中央の戦いは準々決勝最大の目玉となる。

右上のブロックは年末のウインターにも出場、県新人 3 位で東海新人にも出場した**浜松学院興誠**と県新人 6 位・**静岡学園**を中心とした争いで、最終的に両校が直接対決する可能性が高い。両者は昨年 11 月にウインター予選決勝リーグ最終戦で実現、静岡学園も大勝すれば全国出場の芽もあったが浜松学院興誠が力でねじ伏せて全国を決めた好カードが県総体準々決勝で再現することになる。ただ浜松興誠は昨年ここで静岡商業に公立高校の意地を見せられ煮え湯を飲まされた経験を味わった。連続してエコパ前で不覚を取る訳にはいかず、ここを「鬼門」と解釈し万難を排して臨むだろうが、十分上積みがなされた成長著しい面々で臨む静岡学園もここを突破し 2 年連続の東海総体出場へ弾みをつけたいところである。

右下のブロックは、初の県総体優勝・全国総体出場を狙う**浜松開誠館**と、42 年ぶりに東部新人を制して県新人も過去最高の 7 位で終えた公立の雄・**韮山**を中心とした争いが予想され、両雄による戦いが準々決勝で予想される。浜松開誠館は東海常連の県勢としては唯一の純国産チーム、県制覇に向けて「静岡県の至宝」**後藤大駕**をはじめに戦力が充実、まさに期は気熟したと言えるが、相手・**韮山**には国宝級のディフェンスを持つ**新藤穂月**の「上手の手から水をも漏らさない鉄壁の守り」が待ち構えており、百戦錬磨の兵(つわもの)たちがどうやってその細かい網を搔(か)い潜る今から興味津々である。昨年の県総体 7 位の強豪・**浜松西**もこのブロック、2 回戦で実現濃厚な**韮山**との公立高校対決は屈指の好カード、**韮山**にとっては浜松開誠館戦の前に高く険しい山場を乗り越えなければならない。

## 【女子】

こちらは現在大会 9 連覇中、3 大大会も 28 連覇を継続中、東海新人でも 3 年連続で 4 強入りを果たし、昨年一旦途切れた県内連勝も 25 まで伸びた浜松開誠館が頭一つ抜けているのは間違いないが、東海新人に出場して 2 年連続ベスト 8 に輝いた浜松南が西部総体決勝で 4 点差まで詰め寄り、「二強時代の到来」も予感させた。その二強を迫りかけるのが、ウインター予選準優勝・県新人 3 位と安定した成績を残す市立沼津、県新人 7 位そして 3 年ぶりに中部総体王者に返り咲いた藤枝順心の東部・中部覇者に加えて、3 年連続県総体 4 位で今年こそ東海総体出場を叶えたい浜松学院興誠や県新人 6 位で令和 6 年のウインター予選以来の県 4 強を射程圏内に捉えた沼津商業、そして県新人 5 位に入り 5 年ぶりの県 4 強も目前に迫ってきた常葉大常葉の地区準優勝チームを含めた優勝争いそして東海総体出場権争いに加え、浜松開誠館と浜松学院興誠のブロックリーグ参入争いにも注目が集まる見どころ満載の大会となった。

左上のブロックは、県新人を無類の強さで制し、**垣内優希奈・小林陽菜乃**という二枚看板を擁する**浜松開誠館**が圧倒的な強さを見せて勝ち上がってくるはずである。その中で準々決勝での無敵女王への挑戦権そしてエコパでの試合を賭けて、中部総体 3 位の**静岡東**と西部総体 3 位の**三島北**が直接対決する構図が予想される。昨年の県総体 1 回戦との同一カード、その時は静岡東が快勝したが今回は両チームとも地区 3 位、互角の戦いが予想される。

左下のブロックは、県新人 4 位の**浜松学院興誠**と県新人 5 位・中部総体王者の**藤枝順心**が「東海総体王手」を賭けての対戦が濃厚である。特に藤枝順心は併設中学から県内最高身長 181cm **富田良奈**が加入し静岡県高校女子全体の泣き所でもある「高さ」の点で他チームを引き離したと言える。激戦区西部を 1 敗のみの 3 位で切り抜けた浜松学院興誠との対決、興誠も伝統的に上背を生かした戦いを得意とする試合巧者、最後までどちらに勝利の女神が微笑むのか全く予想がつかない。常に県上位をキープする西部 4 位・**浜松聖星**もこのブロック、2 回戦で対戦が予想される中部王者相手に一泡吹かす可能性も十分にある。

右上のブロックは、順調に行けば東部総体決勝の再現が準々決勝で実現する公算が高い。県総体開幕 2 週間前から両軍の目に見えない駆け引きはすでに始まっていて、「前哨戦」となった東部決勝ではこの世代のスターである**岩田真奈**の活躍で**市立沼津**が沼津商業を下したが、アンダーカテゴリー時代からお互いの手の内を知り尽くした選手同士が繰り広げる同地区の「名勝負数え歌」、今回はどのようなメロディーが両チームから奏でられ、最後に勝利のスタンディングオベーションを受けるのはどちらなのか、今から「決戦の日曜日」が待ちきれない。ただ**沼津商業**はその決戦前に県新人 8 位・**静岡商業**という強敵を迎え撃たなければならない。

右下のブロックでは、県新人準優勝・東海新人ベスト 8 で浜松開誠館に勝るとも劣らない厚い戦力を誇る浜松南が無双女王に迫る勢いと戦力を持ちストップ・ザ・開誠館の一番手として群を抜く異次元の実力を持つ。西部総体決勝で見せた**金子莉央・相澤彩乃**を中心とした怒涛の攻めと鉄壁の防御は 9 連覇中の王者としても決して侮ることは出来ない。それを猛追するのは県新人 5 位・中部総体準優勝で**堀田明里**という今大会屈指の司令塔を擁する**常葉大常葉**、5 年ぶりの県 4 強を目指す常葉が東海 8 強の浜松南相手にどのようなバスケットを見せるのか、楽しみな準々決勝が待ち受ける。